

ようじえんだより 2017年度2月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目 253 番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

2月主題『育ちあう』

主題聖句：「愛は、すべてを完成させるきずなです」

コロサイの信徒への手紙 3章 14 節

- ☆ 0～2歳児：寒さの中にも神さまが春を備えてくださることを知る。友だちとのやりとりの中でいろいろな思いを経験する。全身を動かしたり、手や指を十分に使う遊ぶ。
- ☆ 3～5歳児：神さまに愛されている者同士として、互いに認め合う。自分や友だちの得意なことや好きなこと、苦手なことがわかり、受け入れる。提案したり、譲り合ったりしながら、共に生活する。

保幼小連携活動の思い出

前任地の幼稚園では、近隣の2つの小学校と年に数回連携活動をしていました。ある年の連携活動の時のことです。M小学校は、小学生になったらこんなすごいことができるようになることを年長児たちに見せたいと考え、算数の授業見学と体育の高速長縄跳びの授業見学を計画してくれました。ところが…見学した年長児は圧倒され終始無言でした。そして家に帰ってから「小学校に行きたくない」と言った子が複数出たのです。その授業見学は、小学生になることへの憧れよりも、「ぼくには(わたしには)こんなことはできない」と思わせてしまう結果となってしまいました。

後日そのことをM小学校に伝えたら、次回の連携活動では楽しいゲームをたくさん計画してくださいました。そしてそれ以降はいろいろな学年のお兄さんお姉さんたちと交流を深めていくことができました。私たちの希望を聞いてくださり、子どもたちが希望をもって小学校へ向かうことができる

ように配慮してくださったのです。

共に育ちあう

教育は「一方方向⇒」ではうまくいかないと言われます。上意下達のような上から目線で一方的に指示しても教育的効果は限定的で、むしろ「双方向⇄」の関係の中で人はより良く育っていくと言われるようになりました。先生が一方的に児童に指示するのではなく、児童に考えさせ、力を引き出すことが求められていますし、連携活動も小学校の指示通りに保育園・幼稚園が動くだけではうまくいかないのです。

十日町市でもいよいよ来年度以降から保幼小連携活動が始まろうとしています。子どもたちがスムーズに、そして小学校生活に向けて希望を持てる連携活動にしていくように小学校側とよく話し合っていきたいと思っています。何より子ども同士も、先生同士も、そして子どもと先生も、共に育ちあえる十日町市保幼小連携プログラムと

園長：久保田愛策

年間主題『愛されて育つ』

主題聖句：あなたがたは神に愛されている子どもです

新約聖書 エフェソの信徒への手紙 5章1節